

2026年が始まりましたね。初詣やご祈祷に行かれている方も多いと思いますが、今回は東海地域（愛知・岐阜・三重・静岡・長野）のパワースポットについて、ほんの一部ですが簡単に紹介したいと思います。ちなみに、意外に思われるかもしれませんが、愛知県は「神社仏閣数」で日本一！とのことですよ。

【愛知県】

●熱田神宮（愛知県名古屋市）



「熱田さん」の名で古くから崇敬を集める日本有数の神社です。三種の神器の一つである草薙神劍（くさなぎのみつるぎ）が祀られています。織田信長公が桶狭間の戦いの前に戦勝祈願したという逸話があり、「勝負運」に特にご利益がありそうですね。

約6万坪の広大な境内には、樹齢1000年を越える大楠などが生い茂り、心身ともに英気を養うことができますでしょう。

（写真は <https://www.atsutajingu.or.jp/jingu/about/>より）

●豊川稲荷（愛知県豊川市）



1441年に開山された曹洞宗の寺院です。商売繁盛の聖地でもあり、「日本三大稲荷」の一つとして数えられます。

豊川稲荷の境内奥にある霊狐塚（れいこづか）は、願いが叶った参拝者が御礼として奉納した白狐像が約1000体以上並ぶ壮観な場所となっています。地元グルメ「豊川いなり寿司」もおすすめです。

また午年にあたる今年は、72年ぶりに秘仏である鎮守・豊川吒枳尼真天の「御開帳」が開催されるとのことです。注目を集めそうですね。

（写真は <https://toyokawainari-gokaicho.com/>より）

【岐阜県】

●華厳寺（岐阜県揖斐郡揖斐川町）



「西国三十三所観音霊場」の第三十三番札所で結願・満願のお寺として知られています。地元では「たにくみさん」の愛称で親しまれ、紅葉の名所でもあります。

本堂、満願堂、笈摺堂で3つの御朱印を頂ける珍しいお寺でもあり、それぞれ現世・過去世・未来世を意味するとされています。

また、本堂の地下には、真っ暗闇の中を手探りで歩いていく「戒壇巡り」があります。子供の頃はとても怖かった記憶があります。

(写真は <http://www.kegonji.or.jp/luck.php> より)

【三重県】

●多度大社（三重県桑名市）



「お伊勢参らばお多度もかけよ」と謡われる名社です。ご神体が多度山とされています。

多度山信仰の願いを神に届ける使者としての白馬伝説が有名です。多度大社では、その年の豊作、凶作を占う「上げ馬神事」が毎年5月4日5日に行われ、多くの人で賑わいます。

午年の今年に特に訪れたい神社ですね。

(写真は <https://tadotaisya.or.jp/>より)

【静岡県】

●久能山東照宮（静岡県静岡市）

徳川家康をご祭神として祀る全国東照宮の創祀です。

徳川家康は、「遺体は駿河国の久能山に葬り、江戸の増上寺で葬儀を行い、三河国の大樹寺に位牌を納め、一周忌が過ぎて後、下野の日光山に小堂を建てて勸請せよ、八州の鎮守になろう」（『本光国師日記』より）との遺言を残しています。この遺言により遺骸が久能山に埋葬され、その地に久能山東照宮が創建されています。

右図のように「東照宮を巡る聖なる三本のライン」が引けるのがとても興味深いですね。

(右図は <https://www.toshogu.or.jp/link/> のパンフレットより)



【長野県】

●分杭峠（長野県伊那市）

長野県伊那市にある、南アルプスの西側を走る伊那山脈の峠の一つで、標高1424mの地点にあります。伊那市長谷と下伊那郡大鹿村との境に位置する「分杭峠」は、大自然の中でゆったりと過ごすことが「癒し」につながるといわれます。

この場所がパワースポットと言われる場所は、その位置にあります。この分杭峠は、日本最大、最長の巨大断層地帯である「中央構造線」の真上に位置しています。2つの地層がぶつかり合っているという理由から、エネルギーが凝縮している「ゼロ磁場」のパワースポットと呼ばれています。スピリチュアル的な感じですが、大自然の中に身を置くとパワーがもらえそうですね。

ちなみに、中央構造線上にはほかにも、国内最古の神社の一つである「諏訪大社」、「豊川稲荷」、「伊勢神宮」、「高野山」、「石鎚山」など、古くから名高い「聖地」と呼ばれる場所が集中していることも興味深いですね。

（右図は <https://www.inadanikankou.jp/spot/page/id=2076> より）



パワースポットと呼ばれる多くの場所は、私たちの暮らしから少し離れたところにあります。だからこそ、そこに行くことで日常のリズムを取り戻せるのかもしれないですね。

今年も穏やかな一年になりますように。